

厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)  
分担研究報告書

データベースを用いた脳卒中診療連携体制の現状把握と質評価指標の策定

研究分担者 豊田 一則 国立循環器病研究センター 副院長

**研究要旨**  
日本脳卒中データバンクに登録された患者情報を用いて、慢性期脳卒中患者の診療情報を解析した。入院時の要介護度と脳卒中神経学的重症度、日常生活動作(ADL)、生活場所との関連を検討した。入院前の要介護度が重いほど入院時の脳卒中神経学的重症度、退院時 ADL が重症で、自宅退院率は低かった。

A. 研究目的

わが国の要介護(要支援)認定者数は経年的に増加し、2018年4月現在644万人である。2000年に介護保険制度が始まって以来、認定者は増加の一途を辿っている。また65歳以上の要介護認定者の原因疾患として、脳卒中(15.1%)は認知症(18.7%)に次ぐ第二位を占める。

日本脳卒中データバンクに登録された脳卒中症例の臨床情報に基づいて、慢性期脳卒中患者の診療情報を解析する。今年度は、入院時の要介護度と脳卒中神経学的重症度、日常生活動作(ADL)、生活場所との関連を検討する。

B. 研究方法

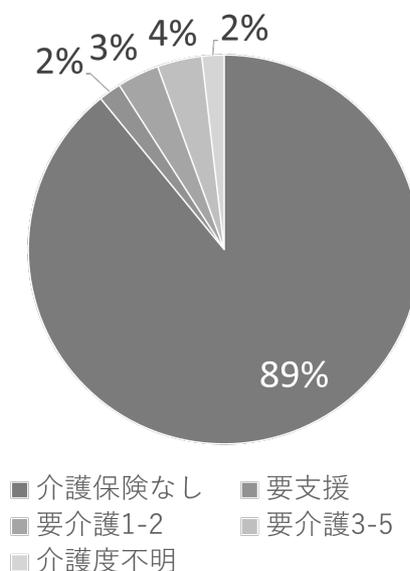
研究対象：日本脳卒中データバンク <<http://strokedatabank.ncvc.go.jp/>> に登録された、急性期脳卒中患者のうち、新システム移行後の3年間(2016~2018年)に入院した患者 15314例。

(倫理面への配慮)

研究対象者の人権の擁護のために、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に従い、公開すべき事項を含むポスターを脳卒中データバンク WEB サイト、および外来、病棟の目につくところに掲示し、情報の公開と拒否の機会を設ける。

C. 研究結果

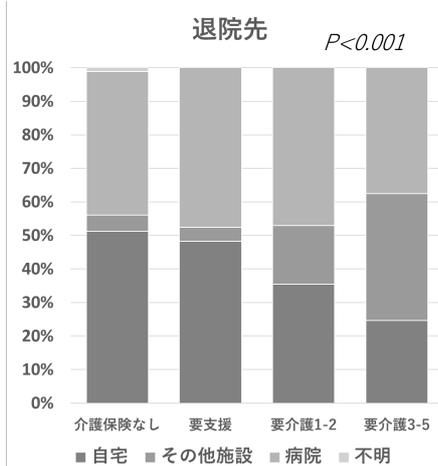
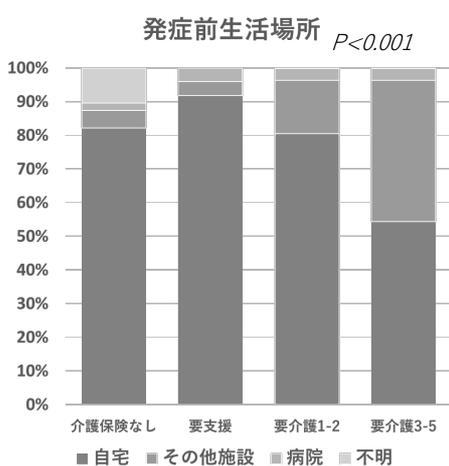
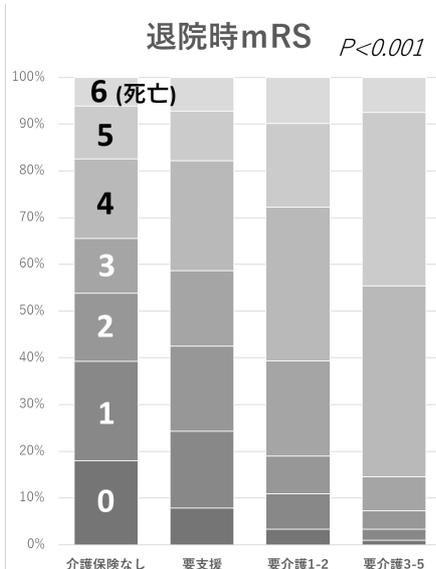
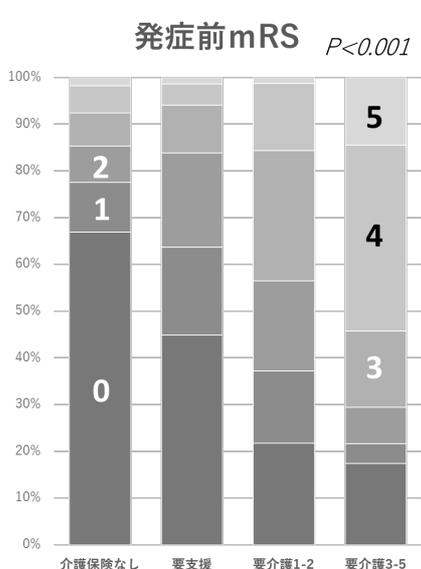
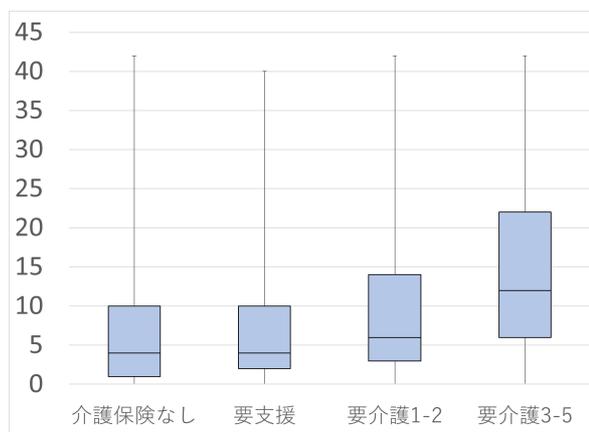
要介護+要支援認定者が、全体の9%を占めた。介護度が重いほど高齢で、女性が多く、脳卒中既往が多かった。



	認定なし N=13905	要支援 N=292	要介護1-2 N=543	要介護3-5 N=574	P
年齢、歳	72 ± 13	80 ± 9	83 ± 9	83 ± 9	<0.001
男性	58.5%	44.9%	41.8%	34.8%	<0.001
脳卒中既往	22.7%	33.6%	39.4%	45.1%	0.035
高血圧	65.8%	76.7%	67.6%	68.1%	<0.001
脂質異常	29.7%	35.6%	24.9%	27.5%	0.007
糖尿病	22.3%	27.7%	23.6%	21.3%	0.12
腎機能障害	8.0%	8.6%	8.1%	7.1%	0.88
現在喫煙	21.5%	13.2%	6.3%	5.5%	<0.001

介護度が重いほど、入院時の神経学的重症度(NIH Stroke Scale:右図)が重かった(P<0.001)。後遺症に新たに神経症状が加わって、合計スケール値が高くなったと考えられた。

介護度が重いほど、modified Rankin Scale (mRS)で示される入院前のADLは低かった。退院時 mRS4-5(高度の障害)が、入院前の介護度に従って段階的に増加した。同様に、介護度に従って自宅退院率が低下した。



#### D. 考察、E. 結論

入院前の要介護度が重いほど入院時の脳卒中神経学的重症度、退院時 ADL が重症で、自宅退院率は低かった。高要介護度は、脳卒中発症後の転帰不良を示す要因となる。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

1. Toyoda K, Koga M, Iguchi Y, et al. Guidelines for Intravenous Thrombolysis (Recombinant Tissue-type Plasminogen Activator), the Third Edition, March 2019: A Guideline from the Japan Stroke Society. *Neurol Med Chir (Tokyo)*. 2019 Dec 15;59(12):449-491.

2. Toyoda K, Inoue M, Koga M. Small but Steady Steps in Stroke Medicine in Japan. *J Am Heart Assoc*. 2019;8(16):e013306. doi: 10.1161/JAHA.119.013306.

##### 2. 学会発表

1. Toyoda K: Reperfusion therapy for acute ischemic stroke in Japan. 口頭(シンポジウム)、Conference by the Taiwan Stroke Society、2019/4/28

2. Toyoda K: [Intracranial Occlusive

Disease] Topics on Dual Antiplatelet Therapy: CSPS.com 口頭(シンポジウム)、9th Korea Japan Joint Stroke Conference、2019/11/15 Incheon

3. Toyoda K: What are the next breakthroughs in the management of acute intracerebral hemorrhage? 口頭(シンポジウム)、Asia Pacific Stroke Conference 2019/10/3 Manila

4. 豊田 一則: 血栓溶解療法の有効性と安全性、口頭(教育講演)、第2回日本神経学会特別教育研修会脳卒中コース 2019/9/15 大阪

#### G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし